

山形の母なる川

最上川

山形県倫理法人会
広報もがみがわ
令和3年5月31日発行
www.yamagata-rinri.net

vol. **65**

広報
最上川
vol. 65



令和三年度会長挨拶 晋道純一
東日本大震災から十年・
コロナ禍から一年有余 P.2
倫理経営企業訪問・えがおのげんば
株式会社村山商工 P.6-9

一般社団法人 倫理研究所
山形県倫理法人会

【発行】山形県倫理法人会
【発行人】晋道純一 【編集人】土屋忠彰

【表紙題字】中村俊光氏

モーニングセミナー レポートキャラバン!

モーニングセミナーは一連の決まりに沿った基本を元にそれぞれの単会で工夫を凝らして運営しています。このコーナーでは各単会を回ってモーニングセミナーの様子をレポートします!

Report

天童市倫理法人会

毎週水曜 6時～
会場：天童温泉松柏亭あづま荘



平成14年7月31日に設立された天童市倫理法人会のモーニングセミナーは、毎週水曜日の午前6時から、天童温泉松柏亭あづま荘で開催されています。

会場に入っただけで目にいるのが大きな将棋の駒。将棋の駒には、「会長」「進行」「受付」「講師」など役割が書かれています。将棋の町、天童市ならではの。

天童市倫理法人会がモーニングセミナーで心掛けていること、「セミナーにおいていただいた方を明るく迎え入れ、お帰りの際はありがとうの感謝の気持ちをこめてお見

送り」この心がけ通り、加賀会長をはじめ役員参加者が、元気な笑顔で対応して下さいます。楽しい会話や笑い声も聞こえてきて、会場全体が明るい雰囲気になっています。

セミナー終了後の朝食は松柏亭あづま荘近くのガストにていただきます。

講話の内容について講師の方に質問をされたり、近況など話したりなどされているようです。



編集後記
山形県倫理法人会
広報委員長 土屋忠彰

最上川65号をはじめとする広報の取材が、4月中旬から下旬に集中しました。

4月14日に「今に訊く」取材で村山市志布隆夫市長訪問、4月16日「笑顔の現場」取材で村山商工様取材、4月21日米沢市倫理法人会様主催倫理経営講演会取材、4月24日米沢市倫理法人会様主催による米沢市役所新庁舎前花壇「米夢ロンド」花植え取材。

4月17日、18日は第3期山形県倫理経営塾第2講に参加して取材。

1月22日に凍結した路面で転倒し左足骨折で思い通りに移動できなかった日々を取り返すかのように活動した日々となりました。



発行 山形県倫理法人会
〒990-0835 山形市やよい二丁目1-47
TEL.023-647-5582
FAX.023-646-7660
www.yamagata-rinri.net
発行日 令和3年5月31日



倫理デジタル寺子屋 開催中!

昨年からのコロナ禍、経営活動を止めることなく継続している企業の多くはデジタルを味方としています。倫理法人会でも、Zoomによるモーニングセミナーや会議を積極的に行って参りました。この度より多くの方に、デジタルを使いこなしたコミュニケーションを習得していただきたく、広報委員会主催で山形市中央倫理法人会広報委員長の齋藤博美氏による「デジタル寺子屋」を開催しています。

六月以降の予定を掲載いたしますので、是非お気軽にご参加ください。

※受講者のリクエスト等によって内容は予告なく変更になる場合がございますのでご容赦ください。

※受講者のリクエスト等によって内容は予告なく変更になる場合がございますのでご容赦ください。

| 日次 | テーマ | 倫理テーマ |
|----------------------|-------------------------------|-------|
| 6月30日(水) 18:30~19:15 | 便利なツールを使って仕事をもっとやりやすくしよう(概要編) | 万物生々 |
| 7月 7日(水) 18:30~19:15 | ビジネスチャットツールの紹介 | 捨我得全 |
| 7月21日(水) 18:30~19:15 | パソコンでFAXを受け取る方法 | 反始慎終 |
| 7月28日(水) 18:30~19:15 | 脱ハンコ! パソコンで捺印しよう | 心即太陽 |
| 8月 4日(水) 18:30~19:15 | 紙をなくそう! デジタル超整理術 | 信成万事 |
| 8月18日(水) 18:30~19:15 | 固定電話をなくそう! スマホを内線電話にしてみよう | 尊己及人 |
| 8月25日(水) 18:30~20:00 | 最終回拡大版 総まとめ編 | 人生神劇 |

東日本大震災から十年・ コロナ禍から一年有余



山形県倫理法人会会長 晋道純一

今年三月十一日、東日本大震災から十年を迎えました。震災により亡くなられた方々へ改めて哀悼の意を捧げ、そして被災されたすべての方に心からお見舞いを申し上げます。我が北海道・東北方面でも亡くなられた会員の方がおられ、被災された会員企業もたくさんおられます。幸いにも山形県倫理法人会会員企業で被災された報告はほとんどありませんでした。

（員）から私も含め県役員が三十名ほど研修を受けていました。その時、とんでもない大きな揺れで皆慌てて駐車場へ避難いたしました。外から建物を見てみると倒壊するのではないかとというくらい大きな揺れだった事を記憶しております。川又先生は交通機関が断たれたため東京へ帰れなくなり、結局私の自宅に二泊し、三日目の朝に庄内空港へ車で送り無事東京へ帰ることができました。二日間停電でしたので、夜は茶の間でローソクの灯りの下、心の持ち方や人としての生き方と倫理観、又お互いの苦労話なども含め話が尽きるころがなく、今思えばこの二日間貴重な倫理指導を受けたという事になります。忘れられない出来事です。あの日から十年。みなさんはどんな事を思い出されますか。

話は転じて、新型コロナウイルスが国内で確認されてから二年有余。前号でも申しましたが、ウイズコロナ禍でDXが加速し、山形県倫理法人会のモーニングセミナー・役員会等のオンライン化がすっかり根付き始めてきました。ほんとうに倫理法人会の運営も我々の企業経営もまさしく環境適応業であると感じづく感じさせられます。また、今年度の倫理講演会開催規模は、コロナ対策で三十名から六十名という参加者を制限する形となりました。昨年同様コロナ禍の影響です。最近コロナのワクチンも日本で接種が始まり、一都三県の緊急事態宣言がようやく解除（三月二十一日）になりました。変異型の確認数が増えてきている不安要素はありますが、コロナ禍の収束と国内経済の活性化の相反する両輪で前進するしか道はありません。今後は、アフターコロナに向けて政治も経済も次の段階に移行していくことになる訳ですが、懸念されることはコロナ以前のような慣習やビジネス

モデルにすべてが戻るとは限らないことです。「アフターコロナはビフォーコロナに成らず」ということだと思えます。ほんとうに大変革の時代ですね。

そんな大変革の中、山形県倫理法人会は、今年度達成目標一、八三〇社を七月二十日に全単会が一丸となり達成しようという空気が漂い始めてきております。こういう時期に来るともう理屈ではなく、まず動いてみる事です。私も会長長として所属単会の上市市を一番早く目標を達成することに意欲を燃やしております。会長長最終年度の大きなヤマ場を迎えています。県・単会の役員の皆様、まずは動いてみましょう。動けば必ず変われます。

第三期 山形県倫理経営塾が始まりました

令和三年四月三日、第三期 山形県倫理経営塾が七名の塾生とともに始動いたしました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い一年遅れの開講式となりました。この間、運営委員は毎月一回運営委員会を開催し、コロナ感染拡大防止を考慮しながらより良い講座とするにはどうしたら良いか、議論を重ねて準備を進めてまいりました。運営側も塾生側も満を持しての開講です。入塾動機の発表で、塾生ひとりひとりが語った入塾に込めた熱い思いは、聞く人の心に響くものでした。

塾生の熱い思いはリーダー選出に行動として現れました。「リーダーに立候補する人は手をあげて」の一言で、三名が一斉に手を挙げました。塾生で話し合いをし、リーダーが太田光三期生に決定しました。これからの講座では苦しいことも経

験するかもしれません。塾生にご関係のある方は、是非激励のお言葉をいただけますと幸いです。倫理経営を学び実践する倫理経営塾への会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

山形県倫理法人会広報委員長 土屋忠彰
倫理経営塾二期卒業生

■第三期 山形県倫理経営塾スケジュール

| | |
|-----|---------------------------|
| 第1講 | 4月3日(土) 17時開講式 |
| 第2講 | 4月17日(土)、18日(日) |
| 第3講 | 5月22日(土)、23日(日) |
| 第4講 | 6月12日(土)、13日(日) |
| 第5講 | 7月17日(土)、18日(日) |
| 第6講 | 8月7日(土) 16時卒業式 親睦会(宿泊) |

※講義は全講義公開制となっておりますので、事前申し込みによる参加を受けております。



五十嵐塾頭



漆山一期生



太田リーダー



シリーズ
倫理会員企業が
拠点を置く
市町村を紹介

「今」を訊く 5 村山市

くらしみちの継承

地元にあるもの(財産)を生かした 農業と観光の可能性に挑戦

第五回目となる今回は、北村山倫理法人会を構成する三市一町(村山市・東根市・尾花沢市・大石田町)の中から、村山市の志布隆夫市長にお話を伺いました。村山といえば「徳内まつり」「最上川三難所」「東沢ハラ公園」など有名ですが、今回は知られざる魅力について大いに語っていただきました。

(令和三年四月十六日取材)

■暮らしながら農業を楽しむ地

村山市は地盤の関係で大規模な工場の誘致には向かないのですが、豊かな自然と寄り添う農業にはとても良い場所です。果樹や米、蕎麦を作る農家さんも多く、そこから

生まれた強みもあります。例えば、健康ブームで多くの蕎麦愛好者が出かけて来る「そば街道」。中でも「あらきそ



ば」は四代も続いている伝統の蕎麦屋としても全国的に有名です。フランス外務省が出している世界の銘店「○○○店」ラ・リス ト二〇二五」では、東北で唯一あらきそばが入りました。

また、世界的に有名といえば日本酒「十四代」ですね。村山市に酒蔵(高木酒造)がある事を知らない方もいますが、これだけのブランド力を保っている会社があるのも地域の誇りです。

酒造り同様、綺麗な水の産物として天然物のジュンサイも村山市の自慢です。採る人が少なくなっており収穫量は十年前の十分の一となっており、市も支援を行い「天然ジュンサイ」収穫体験農園を整備し観光集客も行っていきます。

■居合道にスポット

村山の文化を語る際に、意外と知られていないのが「居合道発祥の地」であるということです。居合道は室町時代末期、村山市林崎で生まれた林崎甚助源重信によって創始されました。日本で唯一の居合道神社もあります。今年三月には

スポーツ庁、文化庁および観光庁が実施するスポーツ文化ツアーリズムアワード二〇二〇で、



日本一社林崎居合神社



村山市役所

■座右の銘
蛍窓雪案(けいそうせつあん)
地元の書道会から年二回の展示会に色紙を書いた

「居合道体験プログラム」が特別賞である武道ツーリズム賞を受賞しました。居合道体験プログラムは外国の方を始め大変好評で、私も畳表をまいて立てたものを日本刀で切るという貴重な体験をしました。

■新しい道の駅について

東北中央自動車道の村山インターが十二月に完成すると国道十三号の交通量が半減します。現在の道の駅を移設し、単に休憩所という役割ではなくここを目的として出かけていただけるような村山市の新しい観光拠点にもなり得る魅力的な道の駅を計画しています。



最上川三難所の一つ、隼の瀬



葉山

てほしいという依頼があり、必ず書いている言葉です。中国の晋の時代に、貧乏な家庭で育った人が夜勉強する際に、夏は蛍の光、冬は雪を集めて机に明かりを採り勉強をして高級官僚になったという故事に基づいた言葉です。



■オフの過ごし方
ウォーキングが趣味で、自宅から十三〜十四分程度歩いて通勤しています。「ここ道路狭いな、広げないといけないな」など、歩くと細かな街の発見ができます。車も趣味で、以前は仙台ハイランドや菅生などのレース場に自分の車を持ち込み、タイヤを履き替えて走りまわりました。(タイヤのショルダーがとけはじめてからタイヤの本領発揮です！)



ハラ公園

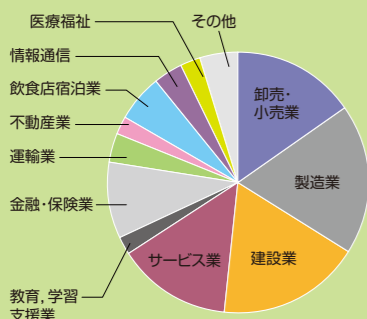
●倫理法人会について

倫理法人会は素晴らしいと思います。万人幸福の葉十七カ条全部は無理でも、いくつか実践すれば生活は潤います。特に最近妻と二人暮らしなので、第五条「夫婦は一对の反射鏡」の内容を実践中です。



左から、北村山高橋進一会長、志布隆夫村山市長、土屋忠彰県広報委員

北村山倫理法人会会員企業 業種グラフ (業種大分類)



村山市 志布隆夫 市長

えがおの げんば



■ えがおの人
山形県倫理法人会 置賜副地区長
村山 順弥 氏
米沢市生まれ



■ えがおの現場
株式会社 村山商工
[代表取締役] 村山 順弥
[創業] 1953(昭和28年)
[所在地] 米沢市中田町 1040-2
[事業内容]
農業用機械、林業用機械、緑化機械、
土木建設機械、除雪機・融雪装置など
各種機械の販売、整備
[役職] 山形県林業機械化協会 会長



「趣味は働くこと。働くことが最高の喜び」と話す、米沢市倫理法人会の会長を長年務められた村山順弥さん。その思いの根っこにあるのは、生まれ育った町への愛着です。専務で長男の順一さんにバトンを繋ぎながら、仕事はもちろん倫理法人会の活動を通して地域に寄り添い続けています。

「手のひら」で 勝負してきた仕事人生

社長 創業者である父は米沢に生まれ育ち、東京で機械加工の職人として働いていました。その後、戦時中の混乱のなか実家米沢に引き上げてきました。しばらくして、農業用の機械修理を頼まれるようになり、父が村の鍛冶屋のような存在で仕事を始めたことが当社のルーツです。私

が幼い頃、会社では当時としては珍しい外国製のエンジンも扱っていました。親の背中を見て育った私は普通高校卒業後すぐに家業の手伝いを始め、その後、父は村山商工として会社を設立。常に父の傍らで見よう見まねで技術を学びながら、「手のひら」だけでずっと勝負してきました。



「お客さんは宝物」 その思いを繋ぐ

専務 正直に言うと、家業を継ぐとは全く思わず、普通高校卒業後は別の業種の会社に就職しました。でも、販売会などで実家の仕事を手伝っているのと、周りの方から「なんで継がないの?」と聞かれるわけです。迷いながらも、継ぐことを決めたのは結婚がきっかけです。家族への責任感が生まれ、しっかりと仕事に向き合っていかなければならないと思うようになり、自分に与えられた場所があるのなら、この方向に行くしかないかなと。

社長 いつかは戻ってくれるだろう

社長 私はお人良しのところがあり、ともすると信頼関係だけで商いをしてしまうこともありましたが、今は専務が数字的な部分をしっかりと管理してくれています。お客さんは宝物です。七十数年の間、無事に健康で経営してこられたのはお客さんのおかげ。今も変わらず付き合いをさせてもらっていることに感謝しかありません。

倫理との出会い

社長 地域の中で仕事をさせていただいている気持ちが常にあるので、町内の行事や役職も頼まれば二つ返事で引き受けてきました。「村山さんはなんでも受けてくれる」という印象を持たれて、ついには選挙候補者の後援会長まで。その後援会のメンバーに勧められたのが倫理法人

自分を変えた 倫理でのまなび

社長 倫理を学ぶ中で最も心に響いたのは十七カ条の「夫婦対鏡」。夫婦は一对の反射鏡、その通りだと思えます。夫婦がうまくいかなければ仕事もうまくいきません。家族が認めてくれるからこそ、会の活動もできます。妻からは「倫理に入ってあなたくらい変わった人はいない」と言われます。元来しゃべるのが苦手です、すぐに怒っては乱暴な口調になることもありました。それが我慢できるようになったんですね。

社長 倫理を学ぶ中で最も心に響いたのは十七カ条の「夫婦対鏡」。夫婦は一对の反射鏡、その通りだと思えます。夫婦がうまくいかなければ仕事もうまくいきません。家族が認めてくれるからこそ、会の活動もできます。妻からは「倫理に入ってあなたくらい変わった人はいない」と言われます。元来しゃべるのが苦手です、すぐに怒っては乱暴な口調になることもありました。それが我慢できるようになったんですね。



代表取締役 村山順弥 氏



ければという気づきもあり、会社全体の調和が図られてきたように思います。それから、時間の使い方や仕事とプライベートのけじめもつけられるようになったかもしれません。



専務取締役 村山順一氏



専務 朝礼をすることに抵抗はありませんでした。でも、それまでは出社したらすぐに仕事に取りかかることができ、店の外ではお客さんがすでに待っていてくれるという状況を変えなければならぬ点が難しかったです。朝礼を始めたことで、時間の使い方にめりはりが生まれたと思いますね。

倫理を学ぶ経営者が 増えれば町も変わる

社長 倫理法人会に入ったことで、多種多様な業種の経営者との出会いがあり、米沢の人たちとの関わりがさらに強くなったように感じます。大変だったのはモーニングセミナーを休めなかったことでしょうか。で

菊合わせて六百株。中川市長も参加して市民の協力を得ながら植栽を行い、新庁舎に彩りを添えることができました。花壇整備の取り組みは、会員の協力のもとに実現した地域貢献事業です。テーマを持って行動していくことが、我々のような団体を運営していくうえでとても重要だと感じています。そして何より、この

歴史を知り、未来を守る

壇の管理は米沢市倫理法人会が主体となり、市民にも呼び掛けながら継続していただきたいと思います。

社長 仕事柄、「山野・草木」は切っても切れないテーマです。米沢市

は草木塔発祥の地（日本森林学会認定）。「置賜草木塔の会」の会員として、また米沢市の田沢地区にある「田沢自疆会」の仲間に入れてもらい、山の神の氏子という立場で活動を行っています。昔から山間部の人たちは山の神を祀り、草木に感謝してきました。そうした思いを知ること

はこれからの時代、ますます必要になってくると思います。私は、平成二八年に倫理研究所が主催した、内モンゴル地区の沙漠に地球倫理の森をつくるプロジェクト



はこれからの時代、ますます必要になってくると思います。私は、平成二八年に倫理研究所が主催した、内モンゴル地区の沙漠に地球倫理の森をつくるプロジェクト

も、参加した会員の「ここに来るとほっとする」という声を聴くと、あらためて会の意義に気づかされます。米沢市倫理法人会の会員は現在百二十三社。せめて二百社まで増えれば米沢の町も変わってくるはず。倫理を学んだ人たちが事業経営を行えば、まとまりのある地域共同体として町の活性化にも繋がっていくと思います。

市民と一緒に継続した 地域貢献を

社長 会の活動を通して社会、地域貢献ができないか、これは会長時代に課せられた私の宿題でもありました。そこで庁舎敷地内にある直径二〇米の古い噴水池跡を花壇にしよと、会員・企業様のご協力を得て造成し「米夢ロンド」が誕生。以来、足掛け四年間市民の憩いの場となっていました。二年前新庁舎建て替えの為、解体される事になりましたが、市当局との何度かの交渉で新庁舎南側に、新しく花壇「米夢ロンド」二面作って頂く事が決定したのです。我々の会が行政から認められていると感



クトにも参加しました。バイオマス発電が注目されている今、木の供給が叫ばれ、森では伐採が行われています。しかし、伐採した後に植樹されるのは伐採量の割に過ぎません。地球温暖化に歯止めがきかない状況

じた瞬間でした。花壇の管理は倫理法人会に任せられることになり、私達は、建物と調和し花壇に映えるようにと、インタロッキングブロックの彩色についても提案し、その通り施工して頂きました。市内の栄光園様から購入した苗木はデイジーと白妙



下で木を切ることだけが進み、緑が少なくなってしまうことを危惧しています。緑を守るためには切った分を植える必要があるのです。こうした状況を社内で共有しながら、日々仕事に向き合っています。

富士研での経験が 自分の強みと自信に

社長 これまで富士研セミナーには六回参加しています。最初に参加したのは入会一年目。この経験がその後の私にとって意義のある学びの機会となりました。回数を重ねるほどに「本物」を学ぶことができ、自分の強みや自信につながっていきます。富士研で何を学び、学んだことを日々の経営にどう生かしていくか。これは一、二回参加しただけでは理解しきれません。三、四回参加してこそ本気になれると思います。会員の皆様には、入会したらすぐにも富士研を体験していただきたいです。富士研一回でモーニングセミナー三年分学べますから。そして、置賜地域の倫理法人会をリードする人に育ってほしいと願っています。

山形には、様々な困難を乗り越えて伝統の技や地域の産業を守り継ぐ職人や、将来を見据えチャレンジを続けるものづくり企業が多く存在します。不安定な今だからこそ、この「山形の宝」に改めて目を向け特集記事として紹介します。

紅花音羽屋

音羽屋小右衛門十四代 石井美由樹様

●創業時期と経緯

「音羽屋」の創業は一七五九年（宝暦九年）。土農工商の「土」以外はすべて行っていました。「農」が紅花、お米、養蚕等、「工」が鍛冶屋、「商」が機屋さんとお団子屋さんです。創業者は今でいうベンチャーだったと思います。

音羽屋十四代目の私が、平成五年に「紅花音羽屋」を創業しました。紅餅を作っている最中に傷が癒えて艶やかになった事に着目。紅花有用液に長年携わっていたメデイカルハーブを応用し染色液として開発を行い、山形大学や工業試験場の協力の元、ボタニカルに特化した染料液「紅花香黄染

め」を完成させました。さらに、当時アトピーで石鹸が使えなかった子供の為に、石鹸を使用しなくても肌が健やかになる浴用タオルを作りました。その良さを実感したのを機に、紅花を使った肌に良い商品開発「紅花音羽屋」として起業をしました。

●事業の特徴

紅花はサフランに次ぐ世界で二番目に高価な染料です。

その価格帯だけあって育成や扱いにとても手間がかかる難しい植物であり、紅花を用いた商品の多くは高価な染物となり、その他の商品は生まれづらい状況です。紅花音羽屋は生産者だからこ

●これまで一番の困難は？

そ、贅沢に紅花を使用し、染色のみならず紅花の薬効成分を豊かに用いて人の役にたつ商品を作る事が出来るのが大きな強みでありこだわりであります。

「紅花音羽屋」設立当時ですね。長年「生産者」でしたので経営に対しての心構えが薄く、いざ経営をしてみると色々困難がありました。学びによる経営知識の補填と休みのない生産の両立は、物理的困難を極め寝不足の日々が続き体調を壊しました。

また、昨年コロナ禍で展示会・ワークショップが行えない状況が続いています。以前は展示会・ワークショップを二週間に一回の頻度で、県内だけでなく関東などでも行っておりまして。イベントが大きな収入源になっていたと同時に勉強の場でもありました。

しかし見方を変えれば、コロナ禍以前はイベントにおわれてインターネットやSNSについて勉強する時間も取れず、リーフレットを作ることもできませんでした。今勉強することができています。ターニングポイントなのかなと思っています。

紅花も一時途絶えた時代がありました。戦争中、贅沢禁止令が出されて紅花の栽培も禁止さ



所在地／山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥乙892-1
事業内容／紅花生産、六次産業によるカラダに良い紅花製品を作り販売



母屋



神誠



所有書



糸車



組合證



通入

大切を受け継いでいきたいと思っております。

●十七カ条で好きな言葉
第八条 明朗は健康の父、愛和は幸福の母(明朗愛和)
落ち込んでいるときに病気を運んでいるな、いやなことを運んでいるな、ということに気がきました。本当に大切だなと思います。努力してまいります。



化粧品



紅花染



お花のお茶漬け

紅花入りハーブティー

取材 Memo

紅花から作られる紅餅を一人前に作れるようになるには十年かかるとお母さまから言われているそうです。「お天気さまとおしゃべりしながら、発酵具合を見ながら、様子を見ながらの作業は、手先の感触がとても大事です。まだまだ修行中です」とのこと。二年前、テレビ番組「和風総本家」に取材され、紅花栽培の工程や紅花の歴史をととても良くまとめていただいたそうです。

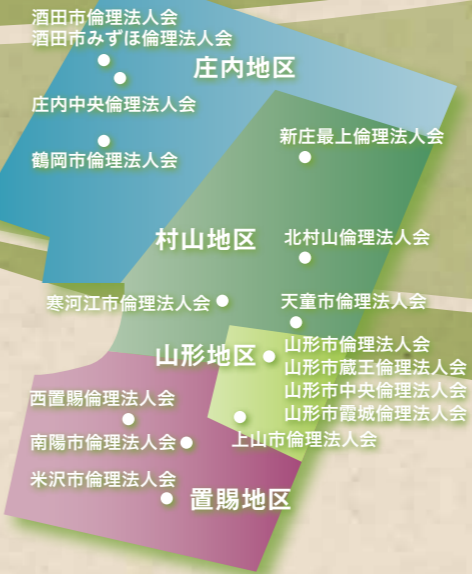


山形地区
山形市中央
倫理法人会

会員数中間目標達成について

山形中央では、全県においてコロナ禍で退会者が増える中、お陰様を持ちまして新規会員五社増となり。中間増員目標を達成することが出来ました。その要因は二つ。
一、布施会長が目標を達成させるといふ強い信念をもって行動している事。まさに「信成万事」
二、ワングセム運動をスタートし、未会員さんにモーニングセミナー会場の活気を味わってもらえた事。
新役員さん中心に多くの役員さんが行動してくれました。「尊己及人」の実践を行ってくださった事が結果として目標達成に繋がったと思います。最後に申し上げたい。今こそ「苦難福門」で乗り超える時！

普及拡大委員長 浅倉啓一
株式会社 浅倉工業



新型コロナ感染拡大により、これまでの運営がままならない中、倫理法人会の基本的精神に則り、各地で工夫をし、新たな取り組みに挑戦しています。ここでは倫理活動の一部をピックアップして紹介いたします。

村山地区
寒河江市
倫理法人会

こんにちは

会長 中西和則
(有 北斗クラブ)



子供の頃の遊び場の代表格は、家から歩いて子供の足でも五分足らずの八幡様だった、寒河江市倫理法人会ワクワクヒーローズ会長の中西和則です。
さて二〇二一年を迎え、『年明け最初のモーニングセミナー』は八幡様(寒河江八幡宮)でご祈禱していただくというのが、いつの間にか寒河江市倫理法人会のデフォルトになっています。
今年も当然のように一月最初のモーニングセミナーはご祈禱に決まりました。今年是他単会からの参加申込みもあり賑やかになる様相を呈しておりました。ところが、当日は大雪になるらしいとの天気予報です。前日から降り続く雪に、参加キャンセルの連絡が。(おっと、お札の数を予約していたのに...) 八幡様の参集殿に六時十五分集合。この日はやはり、八幡様の都合に合わせての時間割です。
六時半より略式モーニングセミナーを開始、会長挨拶で丸山敏明理事長からのメッセージを読みあげると、いよいよメインイベントのご祈禱が始まります。
本殿に移動して、神前にかしこまるといよいよご祈禱が始まります。玉串奉奠(たまぐしほうてん)は例年

置賜地区
地区活動報告

モーニングセミナー
スタンプリリー開催

置賜地区長 島貫利春
COMPANY・島貫



米沢市・西置賜・南陽市各倫理法人会の活性化を図るために、令和二年十二月より令和三年三月末までの期間、モーニングセミナースタンプリリーを開催しました。
倫理法人会においてモーニングセミナーへの参加は「基本」であり、週一回読むことによつて気づきが生まれる万人幸福の葉は「古典」です。早朝の勉強会は明るく活気ある場であり、純粋倫理の学習と実践の場です。そして朝礼・挨拶・返事の実習、積極性を養い異業種交流、情報交換の場でもあります。このスタンプリリーを行う事で、改めて基本に立ち返り他単会との交流もできました。
スタンプリリー十五回参加達成七名の皆様、おめでとうございます。(米沢市/村山順弥氏・漆山裕氏・内藤雅子氏・山田登氏 西置賜/那須喜美子氏・小関利一氏・島貫利春氏)



会長の務めなのですが、頭の中で「二礼二拍手...」とかググルグル回っていたので、ありがたい祝詞も上の空でした。
ともあれ、ご祈禱を無事に終えホッと一息ついたところで、宮司さんから五年にまつわる話しをいただき、最後に宮司さんから集合写真のシャッターを切っていただきます。
ところで五年にまつわる話しですが、思い出そうとしてもまったく思い出せないので、我ながら呆れてしまします。この原稿を書くにあたり他の参加者にも聞いたところ、「境内のどこかに牛がいる」と言ったとか言わなかったとか...。物忘れの仲間がいた(笑)
因みに今年の干支、辛丑(かのとうし)は「辛いことが多いだけ、大きな希望が芽生える年になる(Weeb情報)」だそうですよ。



山形市緊急事態宣言の為、Zoomのみの開催に変更になりました。内容を再度ご確認くださいませようお願いします。

山形市中央倫理法人会 女性委員会 女性セミナー

産婦人科医 井上聡子氏 講演会

2021.4.1 『生と性の話をしよう』

《時間》13:30～15:00
《定員》Zoom 50名 (参加者は女性に限らせていただきます。)
《費用》無料

ZOOM ミーティングID : 958 1250 8743
パスコード : 336049

■ 企業名・名前 に名前を変更して入室をお願いします。 顔出しなくてもOKです！ 顔出しが強制のご参加ください。

《タイムスケジュール》
13:00 入室開始
13:25 挨拶
13:30 セミナー開始
14:30～15:00 質疑応答
15:00 閉会

★3/30(火)まで 照会事務局 fax 023-646-7660 へご連絡ください

| | |
|----------|-----|
| 会社名 | お名前 |
| Mailアドレス | |

※操作方法や不具合などありました際は下記照会事務局までご連絡ください。 照会事務局 Tel 023-647-5582



山形市中央の女性委員会主催でセミナーを開催し産婦人科医井上聡子先生にご講演いただきました。「生と性の話をしよう」をテーマに様々な問題提起がなされました。日本における性教育の遅れは誤った性意識を生み、中にはDVという深刻な社会問題を引き起こし、その先に若年貧困層の増加という悪循環の側面もあるというお話。SDGsにも関連する問題と捉え、産婦人科医として悪循環を止める為に子供の性教育に力を入れているとの事でした。参加者の皆様も、家庭や社会で何らかの役割を担う中「私は今何が出来るだろうか」と考える字びの時

山形地区
山形市中央
倫理法人会

四月一日、女性限定セミナーを開催

女性委員長 七五三真理子
ジブラルタ生命保険(株)

間となりました。本来であればアフタヌーンのお茶の時間、和みのセミナーを予定していたのですがコロナ感染拡大状況下のためZoom開催となりました。直接お会いできなかったものの、参加者二十五名が皆同じ距離感で顔を見ながら会話ができて、リモートならではのコミュニケーションがとれました。

置賜地区
米沢市
倫理法人会

四月二十四日、米沢市市役所新庁舎で花植えを行いました

山形県倫理法人会 広報委員長 土屋忠彰
Freedom

五月六日に開庁する米沢市市役所新庁舎前に新しく作られた花壇で、米沢市倫理法人会主催の花植えが行われ多くの方が参加されました。青空が広がる爽やかな早朝六時。開始時間よりも三十分早いにもかかわらず、すでに多くの人が集まり花壇の草むしりが始まっていました。六時半までには中川勝米沢市長をはじめ米沢市役所の職員の方々、赤十字の方々、親子連れなど、さらに多くの方が集まりました。



遠藤会長、中川勝米沢市長による挨拶の後、参加者が花壇に入り花を植える目安となる線に沿って並びしゃがんで作業を進めていきました。植える花は、米沢市にある障害者施設栄光園の入所者様が育てられた花です。まず花を植える位置に穴を掘り水を入れます。花をポットから丁寧に取り出し、一塊になっている根を優しくほぐして掘った穴に入れ、両手で軽く土を均して最後に上から水をかけます。作業されるお一人お一人が、心を込めて丁寧に作業をされていました。作業後、花壇の名前「米夢(まいむ)ロンド」の看板を、遠藤会長、中川市長の手によって取り付けられました。遠藤会長からこの花壇についての説明をいただきました。現在の米沢市役所庁舎前にあった直径二十メートルの円形の噴水が、東日本大震災のあと水を止めたままにしていたために廃れてしまった姿を



見て、心を痛められた当時の米沢市倫理法人会相談役の小島長五郎様が寄付して整備をしたのがこの花壇の始まりとの事。米沢の夢を語りみんなで輪になってこの花壇を愛でたいと「米夢ロンド」と名付けられました。名付け親は小島長五郎様のご友人で代表作「炎のミラーージュ」で知られる作家桑原水菜様です。米沢市役所の新庁舎建設に伴いこの花壇は取り壊されることになりましたが、花壇にこめられた思いを受けつこうと、米沢市役所新庁舎にも新しく花壇を作っていたらいいなと。作業を終えた人々は、爽やかな表情で帰途に着かれました。



置賜地区
米沢市
倫理法人会

倫理経営講演会を開催

山形県倫理法人会 広報委員長 土屋忠彰
Freedom

四月二十一日(水)、米沢市倫理法人会主催の倫理経営講演会が東京第一ホテル米沢で開催され、一般社団法人倫理研究所 監事前原幸夫氏が「経営力を磨く」というテーマで、新潟県倫理法人会会長 井岡秋夫氏が事業者体験報告を「痛快倫理」というテーマでご講話をされました。



米沢市倫理法人会 遠藤一徳会長は会長挨拶の中で、倫理経営講演会開催を決定したのは、今年は新型コロナウイルス感染症拡大により倫理経営講演会中止を決定した単会が多い状況で、米沢はどうしようかと役員に相談したときに返ってきた、「だからこそ米沢はやるんだ!!」という言葉だったことを話されました。

遠藤会長は挨拶の最後を、講師と参加者二十八名全員による「苦難は幸福の門」の斉唱で締めくくり、会場が一体感に包まれました。